



2017-2018年度
国際ロータリーのテーマ

ロータリー： 変化をもたらす

RI 会長
イアン H. S. ライズリー

第2720地区ガバナー 永田 壮一
第2720地区ガバナーエレクト 高山 泰四郎
大分第3グループガバナー補佐 荒金 信治

第2720地区 大分第3グループ 別府東ロータリークラブ

例会日：毎週木曜日 12時30分
例会場：杉乃井ホテル
ホテルサンバリーアネックス
事務所：別府市西野口1番1号
〒874-0931 (青山通りビル3階)
TEL (0977) 23-9000
FAX (0977) 23-9019
E-mail: jigoku@beppuhigashi-rc.jp
http://www.beppuhigashi-rc.jp/

会長 長野 勝行 幹事 久保田高史

VOL. 39-No.42 2018年5月24日

第1870回例会

公共イメージ委員長 瑞木 一博



新緑 京都

“歴史と伝統を継承し、
活動的なクラブにしよう”
別府東RC 会長テーマ

— 青少年奉仕月間 —

- 点 鐘 18時30分
- ロータリーソング 君が代・それでこそロータリー
- 唱 和 四つのテスト
言行はこれに照らしてから
1. 真実か どうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか
- ビジター 神 大和男 (別府)、真砂鉄治、木村大成、高橋喜巳、金本龍生 (別府北)、堀 由美、大島由美子 (別府中央)

■ 出席報告 委員長 後藤 誠一

本 日	会員総数	42名	ゲスト	0名
	出席数	29名	ビジター	7名
	欠席数	9名	出席率	76.32%
前々回の出席率		63.89%	修正出席率	75%
		100% 通算		1578回

出席規定免除(b)：黒岩、神田、西、檀上

名誉会員：西村

■ メイクアップ

事後 (第1868回例会)
中塚、高橋、但馬 (別府)、
竹内 (別府中央)

■ 欠 席

安部、笠木、工藤 (晴)、中村、二宮、岡本、
但馬、詫磨、山下 (唱)

■ 会長の時間 会長 長野 勝行

本日は、別府東 RC の創立記念日です。
39年前の5月24日に誕生しました。
クラブにとっては誕生日ですから、本日は、盛大
にお祝いしたいと思います。
39年前となると、私は6歳です。小学校1年生の
時ですから、歴史を感じます。
今年は、例会日と創立記念日が重なりました。
折角の機会なので、チャーターメンバーである
岩瀬会員と樽谷会員に違った角度から創立記念日に
因んで、卓話を頂きます。
創立当初のお話しが聞けることと楽しみにして
います。
その後は、懇親会ですが、事務局にあった写真を
編集して770枚ほどにまとめてスライドショーで
ご覧いただきたいと思っています。
岩瀬会員、樽谷会員の卓話を踏まえて見て頂けると、
感慨深いものになるのではないかと思います。



創立総会並びに初例会 (79.5.24)

■ 幹事報告

幹事 久保田高史

本日は、当クラブ創立記念日(1979年5月24日)を祝して「創立記念日例会」を開催致します。

- 「2018-2019年度青少年交換学生事業についての会議」開催のお知らせ
 日時 平成30年5月28日(月)14:30～
 場所 別府市内RC合同事務局
 内容 受入れホストファミリーの各クラブ順番決定について
 出席者 次期会長、次期幹事、青少年交換担当委員
 *一力秀次次期会長、沼田守生次期幹事、工藤恵美次年度青少年奉仕副委員長のご出席をお願い致します。
- 「2018学年度米山記念奨学生夏季研修会」開催のお知らせ
 日時 2018年7月21日(土)～22日(日)
 場所 阿蘇YMCA (熊本県阿蘇市車帰358 ☎0967-35-0124)
 日程 <7月21日(土)>
 11:00 会長、カウンセラー、奨学生集合(昼食)
 12:30 夏季研修会開始～
 16:30 1日目プログラム終了
 17:30 懇親会
 <7月22日(日)>
 8:30 2日目プログラム及び修了式
 9:30 片付け、解散
 *一力秀次次期会長、加藤兼司・榊田 浩・竹内孝夫 各カウンセラーには、米山奨学生の引率並びに「夏季研修会」への参加をお願いします。
- 5月17日(木)例会終了後、14:00～野口原野球グラウンドBコートに於いて「第1回第2720地区ガバナー杯争奪野球大会」に向けての練習を実施しました。
 参加者：長野勝行、竹内孝夫、工藤恵美、沼田守生、羽田野 徹、久保田高史 各会員
- 5月19日(土)13:00～ホルトホール大分に於いて「RI第2720地区会長ノミニー研修セミナー」が開催され、山下布美代会長ノミニー(2019-2020年度会長)が出席されました。
- 本日、17:00～ホテルサンバリーアネックスに於いて「第8回中長期(40周年準備)委員会」を開催致しました。
- 例会変更のお知らせ

《2018-2019年度 地区会員増強部門・会員増強セミナー》

日時 平成30年5月27日(日)9:50～12:45
 場所 熊本学園大学第4号館 (☎096-364-5161)
 出席義務者 次期会長、次期幹事、次期会員増強委員長
 *一力秀次次期会長、沼田守生次期幹事、羽田野徹次期会員増強委員長のご出席をお願いします。

- 大分臨海RC：6月4日(月)の例会は、定款第8条第1節により『休会』
- 大分1985RC：6月11日(月)の例会は『最終夜例会』の為、同日19:00～割烹「にしおか」に場所変更
- 7. 次週(5月31日)の例会予定
 「落語を聴く例会」 嘶屋ザトー氏
 *5月31日(木)は、12:30～ホテルサンバリーアネックス2Fに変更して開催します。
 多数のご出席をお願いします。
- 8. 本日の回覧 ①ゲスト卓話(嘶屋ザトー氏)例会 出・欠席(5月31日) ②姉妹クラブ台北昇陽扶輪社会長年度交代式訪問団参加申し込み(6月23～25日) ③「座席指定例会」出・欠席(6月7日) ④「会員増強勧誘(夜)例会」出・欠席(6月14日) ⑤「第5回(新旧引継)クラブ協議会」出・欠席(6月21日) ⑥「会長・幹事慰労会」出・欠席(6月27日(水)) ⑦「2720Japan O.K.ロータリーEクラブ創立1周年記念式典・祝賀会」登録申し込み

■ お祝い

結婚記念日 羽田野 徹会員(5月25日)
 岩瀬 公男会員(5月26日)
 工藤 晴生会員(5月27日)
 *ご自宅に特選豊後牛肉をお届けします。
 皆 勤 岩瀬 公男会員(5月24日=39年)
 樽谷 壽生会員(5月24日=39年)

■ ニコボックス

○別府東RC、39周年です。みなさんおめでとうございます。全会員1口よろしく申し上げます。

創 立 記 念 日 例 会



創立記念日に因んで

チャーターメンバー 第13代会長
岩瀬 公 男 氏

過日、5月24日の創立記念日に因んでの、卓話依頼を受けました。一昨年まで4人いたチャーターメンバーも、西村先生が名誉

会員に、千壽さんが亡くなられ、私と樽谷さんの2人だけとなりました。時の流れを深く感じております。

顧みますと、黒岩年度の創立15周年の折は、13代会長として「記念卓話」、創立25周年は実行委員長として「ご挨拶」。

また2000～2001年 伊藤泰義会長、2002～2003年 長野善行会長年度にも創立記念日に因んでの卓話をさせていただいており、実のところ、あと何を話せば良いのか悩んでおりました。

今年の長野会長のテーマは「歴史と伝統を継承し、活動的なクラブにしよう」であり、来年は記念すべき創立40周年を迎えます。新会員も多くなりました。そこで「温故知新」ということで、少し昔を振り返ってみたいと思います。

樽谷さんの時間もありますので、①別府東RC設立までの経過、②創立1年目の我がクラブの様子、③黒木健夫初代会長のこと、の3点にしぼります。

①別府東RC設立までの経過

当時、別府には2つのクラブがありました。1952年(S27) 7月30日創立の別府RCと、1965年(S40) 7月30日創立の別府北RCです。

○1970年(S45)

八田 秋ガバナー(第373地区、別府RC)の時、地元別府に第3のクラブ、または日出か湯布院に新クラブ結成の話。

○1975年(S50)

後藤基彰ガバナー(第373地区竹田RC)が、九州大学医学部後輩の黒木健夫氏を初代会長にし、長野 弘特別代表で新クラブを設立したいと、別府北RC会長 内田 正氏のもとを訪問。

設立準備委員会の発起人会発足。

この間テリトリーの問題、オイルショック等もあり、具体化しては消えることの繰返しであった。

○1978年(S53) 7月

吉村武文ガバナー(第273地区・延岡RC)が長野 弘特別代表を任命。

別府、別府北両クラブの話し合い続行。

○1979年(S54) 2月

前岡志朗(別府北)、神田安喜(別府)各会員、特別代表補佐に任命。

○1979年(S54) 4月

新クラブ設立準備委員、並びに新クラブキーメン選出。

【設立準備委員】 13名

児玉房雄、内田 正、力丸 定、安波 勲、岩永 邦喜、黒木健夫、宮本末吉、児玉 彪、川又三郎、西村駿一、木村桂一郎(11名・別府北)、畑 一郎、此本正憲(2名・別府)

【キーメン】 6名

黒木健夫、児玉 彪、川又三郎、西村駿一、菊池 宏、高岸忠勝

○1979年(S54) 5月24日

創立総会並びに初例会をホテル児玉にて開催。

チャーターメンバー 37名(北RCより移籍17名、新入会員20名)。

テリトリーは春木川以北及び日出町全域。

○1979年(S54) 8月17日

国際ロータリーに加盟認証される。

(R I 第273地区内79のRCと、3961人のロータリアン。県内18番目、日本では1455番目の、別府東ロータリークラブ誕生。)

名称については、東北、別府湾、泉北、速水、豊後、新泉都、温泉、いでゆ、などの案あり。

「簡素で明るいクラブを」と「東」を提案しましたが、地理的に実態を表さないという理由で反対も多かった、との話が残っています。

別府東RC創立総会での、吉村ガバナーの祝辞

「善意こそがロータリーの根本であり、ロータリー活動の泉源、原点である」「人の為に思い、人の為につくすことは全て善意の表れであり、社会生活を営む人間の初歩的な義務である。相手の身になって考える、相手の身になってつくす。これにより家庭が、職場が、地域社会が明るくなってくる。地域社会に善意に基づく集団をつくり、奉仕の理想をかかげ、会員相互の親睦の中からロータリーを学び、自己研鑽を重ねながら明るい社会を築くために精進して下さい」

この言葉に、私達新入会員は感動を覚えました。



創立総会、吉村武文273地区ガバナーによる祝辞

②創立1年目の我がクラブの様子

○5月24日、創立総会の折、黒木会長の挨拶

「吉村ガバナー指導のもと、別府RC、別府北RCをスポンサーに、別府東RCが誕生することになりました。(中略) 今度のクラブは次男坊として、少しあばれる様なクラブになるのではないかと考えております。東クラブは年齢も若く、職業分類もバラエティに富んでいて、立派な会員を北クラブからいただきました。しかもすでに数名の入会予定者も出てきているということで、近々50名近くになるのではないかとこの印象を持っています。勿論、新しいクラブですから、これから先は、まず会員の間の友愛を主として、懇親の場を充分深めて行きたい。そしてロータリークラブをまだ知らない20名の新会員もおりますので、インフォメーションを主軸としまして、ロータリーというものを充分理解していただき、新しいクラブの基礎づくりをしていきたい」と述べております。

○黒^{くろひょう}彪軍団」の名付け親、後藤パストガバナー挨拶

「別府東は次男坊であるので、さぞや暴れるであります。会長が黒でしよう(黒木)。副会長が彪(児玉 彪)でしよう。「黒い彪」なら、これは暴れるだろうと、空恐ろしい今後の活動のことを考えております」

○ロータリー創立75周年に因んだ記念誌より

「別府東RCは先輩のご協力で誕生いたしましたが、生まれたばかりの若鮎のようなクラブで、別名「黒彪軍団」と呼ばれ、非常に行動力に満ちたクラブです。黒木会長は「奉仕」については、先ず知り合うことから始まり、他人への思いやりの心こそが「奉仕の精神」であると常に指導され、会員一同は会長の意をうけて、積極的に活動を展開しています」

我が東クラブは若鮎のごとく、ハレー彗星の如くありました。

改めて黒木初代会長の、当クラブにかける熱い意気込みが感じられます。5年、10年先のありようを考え、ご指導いただいたものと、深く感謝しております。

【1979～80年 初年度会長方針】

RIテーマ：奉仕の灯で道を照らそう

会長ターゲット：当クラブは新クラブであるので「ふれあいの奉仕を育てよう」とし、以下を示す。

- (1) 会員相互の心のふれあいを深め、友愛の輪を広げ、親睦を深めていくこと
- (2) R情報を十分にやってロータリーの奉仕の精神を十分に知っていただき、ロータリーを理解してもらうこと
- (3) かくして新クラブとしての、ロータリークラブの基礎づくりをすること

【公式訪問資料より】

クラブ概況

- ・定款、細則：標準ロータリークラブ定款、細則を採用
- ・区域限界：別府市内のうち、春木川以北及び日出町
- ・事務局：国際観光会館
- ・例会場：ホテル児玉
- ・理事数：8名
- ・総会：毎年1回(12月第2例会)
- ・定例理事会：原則として毎月第1例会日

役員及び理事

(役員)	会長 黒木健夫	副会長 児玉 彪
	幹事 川又三郎	副幹事 西村駿一
	会計 下石文夫	
	S.A.A 高岸忠勝	副S.A.A 三浦信男
(理事)	黒木健夫・児玉 彪	
(社会)	菊池 宏	(国際) 佐藤一生
(青少年)	但馬 賢	(職業) 和田正遠
(S.A.A)	高岸忠勝	西村駿一

委員会

クラブ奉仕部門

- ①出席、②職業分類、③会報、④親睦活動
- ⑤雑誌、⑥会員選考、⑦会員増強、⑧プログラム
- ⑨広報、⑩ニコボックス、⑪Rソング

S. A. A 対外奉仕部門

- ①国際奉仕、②社会奉仕、③青少年奉仕
- ④職業奉仕、⑤R財団

会員数

創立総会時(5月24日)：37名(別府北より移籍17名、新入会員20名)
ガバナー公式訪問時(8月1日)：41名
年度末(6月30日)：46名

年齢構成

平均年齢44.39歳(公式訪問時41名)

60代：2名 [白石61、遠嶋60]

50代：9名 [黒木(夫)57、川又52、和田50、四元59、田中(信)57、島津55、成清56、野上53、松崎53]

40代：17名 [児玉(彪)44、西村49、菊池40、星野40、三浦45、今村47、千壽45、下石48、村上48、阿南46、松野44、松村43、岩瀬42、黒木(正)41、田中(弘)40、大西(韶)48、森41]

30代：12名 [高岸38、但馬39、佐藤(一)34、児玉(公)33、古城38、野島38、樽谷36、佐藤(博)36、外山32、佐藤(文)31、村橋34、塩津39]

20代：1名 [大西(利)28]

予算書

収入の部 10,547,170円
(会費7,000円/月、入会金30,000円、食事代1,200円)

③黒木健夫初代会長のこと

大正10年7月8日 宮崎県高城町にて出生
平成15年3月25日午前8時逝去。享年82歳

- 昭和20年 海軍見習医官として終戦
九州帝国大学医学部卒
- 昭和25年 国立亀川病院初代整形外科部長
高安院長と温泉応用のリハビリ、整形
医療を確立
- 昭和28年 黒木医院開業
- 昭和37年 大分県愛鱗会設立会長
- 昭和40年 全日本愛鱗会会長
- 昭和52年 日本ボクシングコミッショナー嘱託医
- 昭和55年 大分県病院協会会長
- 平成11年 黒木記念病院理事長

表彰・受賞関係

県知事表彰、紺綬褒章、別府市長表彰、
ブラジル政府サンフランシスコ最高勲章、
厚生大臣表彰、文化庁長官表彰、藍綬褒章、
勲四等瑞宝章 等

医療現場では、整形外科・リハビリ分野の第一人者、スポーツ医療のさきがけ的存在。社会奉仕として、ロータリー歴41年、趣味の世界では、日本の伝統文化である錦鯉の愛好団体「全日本愛鱗会」を世界組織に育てあげた。

【ロータリーに於ける功績】

- 昭和37年 別府RC入会
- 昭和40年 別府北RC設立の際、中心となり、新しく地域に密着した理想のクラブを設立。初代幹事
- 昭和49年 別府北RC10代会長
- 昭和54年 別府北RCより分離独立し、別府東RC創立。初代会長
- 昭和63年 国際ロータリー第272地区ガバナー就任
1988～89年 黒木健夫ガバナーテーマ「ハンディキャップに愛の杖」をかかげ、「R財団地区補助金」を使って大分車いすマラソンの援助プログラムを大成功させた。
また「地区拡大の母」とも呼ばれ、「黒木、寿崎、大平ガバナー年度」の3年間で15RCの新設を宣言、達成させた。

- | | | |
|------|---|---------|
| 黒木年度 | ①山鹿中央、②熊本グリーン、
③八代東、④人吉中央、⑤別府中央、
⑥三重（豊後大野） | 6 RC |
| 寿崎年度 | ①熊本菊陽、②熊本西稜、
③熊本平成、④大分城西、
⑤白杵中央、⑥佐伯MARINE、
⑦宇佐八幡、⑧中津平成 | 8 RC |
| 大平年度 | ①湯布院 | 1 RC |
| | | 計 15 RC |

終わりに、私共、別府東RC会員は、黒木健夫先生のロータリーにかけた情熱とご指導に感謝の念を捧げ、別府東RCの、今後益々の発展を願い終わります。



黒木健夫初代会長挨拶 (79.5.24)



初例会風景 (79.5.24)



志高湖に錦鯉放流 (79.7.12)



交通安全塔除幕式 (80.6.5)



〔 児玉 彪 2代目会長のこと 〕
 チャーターメンバー 第18代会長
 樽谷 壽生氏

児玉 彪 2代目会長 (80~81年度)
 (第273地区 福島親比古ガバナー)

昭和9年9月2日生 享年69歳
 久留米大学医学部卒・児玉病院院長

会長テーマ

ーさあ歩きだそうぜ、奉仕をかかげてー

当時は県立鶴見丘高校のPTA会長

vol. 2 協議会資料

- 会報委員会
7名の委員で構成。原則として輪番制で毎週2頁の週報を発行する。
- Rソング委員会
4名の委員で構成。ソングリーダーを輪番制にする。月1回は童謡を歌う。

児玉会長は親睦活動を通じて2年目の東RCを活性化されました。

- 夏休み、国東海岸での「立てあみ漁」を中心とした日帰りキャンプ
- 新年家族会45名の会員で90名を越える大家族新年会を実施
- 例会100回記念ソフトボール大会(野口原)
- 忘年会での全員参加の隠し芸大会(なるみ)

児玉会長は例会以外でも炉辺談話の一環として、ゴルフ・マージャン・競輪・競馬・夜の街の徘徊等、新入会員の遊びの師匠でもありました。

特に思い出深いのは、

- 鯉取り軍団を結成し、塚原の地に巨大な鯉がいるという噂を信じ、重機を持ち込み大捜査をしたが失敗。



RI創立76周年記念例会
 向笠広次RI会長ノミニーと共に (81.2.26)



国際障害者年理解週間
 別府整肢園へ長嶋前巨人軍監督を招く (81.3.22)

- 別府市内の長者番付では毎年5番以内に入っていた。ある時、節税対策としてロールスロイスを購入し、職員に制帽をかぶらせ、例会場の児玉ホテルに颯爽と乗り付けた時にはびっくりしました。
- 自分の家族は60歳以前に亡くなっているのですが、自分が60歳を超えた事に感謝するという事で「たつの屋」で真夏の水炊きを振る舞ってくれた。

地区ロータリーでの活動

273地区のライラ委員長を1988年から7年間勤め、韓国のクラブとの交流に尽力された。ライラの地区大会を東RCがホストとして開催した。

- 1991年にガバナー補佐
- 1995年に西村会員 ガバナー補佐
- 2000年に西村会員 ガバナーノミニーに指名される
- 2002年に西村会員 ガバナー就任

児玉先生は、2000年に当クラブを退会され2003年8月29日、69歳でご逝去。東RCの歴史の一端を築かれた児玉2代目会長を偲び、卓話と致します。

長野会長のテーマは「歴史と伝統を継承し、活動的なクラブにしよう」です。新入会員が東RCの歴史を知るには、過去の週報の綴りを見る事が一番の早道だと思います。しかし瑞木R情報委員長によりますと、週報の綴りは2008年の野田年度から現在迄の10年間しかホームページにないとの事でした。原本さえあれば予算をかけずにホームページに取り入れる事は可能との事でした。原本は電子印刷センターに全て揃っていますので杉本会員に依頼し、早急に最初からの週報の綴りを取り入れる事を理事会に提言したいと思っています。



野外家族例会 (於：国見町古江公民館) (80.8.7)